

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	道路課長 秋山 崇	
都整-17	道路新設改良事業	☒ 自治事務	主管課	道路課
重点事業		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・舗装構成(FWD)調査を行った。
・荏柄天神参道整備のための埋蔵文化財試掘調査を行った。
・市道066-000号線において、道路改良工事を行った。
・令和4年度からの繰越事業である市道047-044号線の道路改良工事を行った。
・道路新設改良工事について、入札不調により翌年度に繰越した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	指標(目標値)	指標(目標値)	
01	道路新設改良工事等	道路舗装修繕計画策定業務委託	道路舗装修繕計画に伴う修繕実施延長(km)	事業費(決算/当初)(千円)	事業費(決算/当初)(千円)	予算額(千円)	8.70%
				0.4 / 4.6	-	-	
				45862 / 149960	162,305	162,305	
				国県支出金	5,640 / 26,507	27,821	
				地方債	31,100 / 99,300	25,500	
				その他特定財源	/		
				一般財源	9,122 / 24,153		
				事業費の合計(千円)	45,862 / 149,960	53,321	
				人件費(千円)	11,970	12,018	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.7	1.5	0.9	1.5	1.5	
会計年度任用職員	0.0	0.2	0.4	0.4	0.2	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	道路新設改良工事等	第4期基本計画においては、舗装修繕計画に伴う修繕の累積進捗率を成果指標としていたため、整合を図り、年度ごとの修繕の延長を指標とした。 なお、入札不調により当該年度に工事实施できなかったため、目標未達となった。	道路舗装修繕計画に伴う計画的な修繕を実施することにより、道路の安全性と快適性が保たれ、強靱化が図れる。	幹線道路については、引き続き修繕計画に基づき修繕を実施していく。 生活道路については、既計画で抽出され取り残された生活道路及び、要望やパトロールによる修繕箇所を整理し、道路維持修繕事業として実施していく。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☒ 拡充 ☐ 改善・変更 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
舗装修繕の要望は、市民から多数寄せられているため、予算規模拡充や人員を増員して対応を図る必要がある。	
道路課の事業のほか他課の事業(委任等)及び無電柱化にかかる事務により、職員5名分の人員が不足している。 なお、令和6年度の道路課における職員の配置人数は、定数に対して2.5名分不足している状況である。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	道路舗装修繕計画に基づく修繕実施延長						単位	km
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
第4期基本計画においては、舗装修繕計画に伴う修繕の累積進捗率を成果指標としていたため、整合を図り、年度ごとの修繕の延長を指標とした。	目標値	3.1	3.9	3.6	4.6	-	-	
	実績値	0.5	1.2	0	0.4			
	達成率	16.1%	30.8%	0.0%	8.7%			

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--